

令和3年版環境白書

第5章 環境と調和した地域づくり

1. 環境に関わる人づくり

(1) 学校等での環境教育の推進

- ① 専門的な知識や豊富な経験のあるアドバイザーの派遣
- ② 未就学児及び保護者を対象とした体験活動を通じた学びの支援
- ③ 小中学校・高等学校・特別支援学校における地域の教育資源（ひと・もの・こと）を生かした実践的な学習の推進
- ⑤ 教育におけるICT活用などの実践支援（授業で活用可能なデータの提供）

(1) 事業目的

多くの県民に環境問題に関心を持ってもらい、自ら考え、課題や展望を見出し、具体的な行動に結びつけてもらうため、学校等において発達の段階に応じた環境教育を推進します。併せて、家庭における家族への波及も促進します。

(2) 取組状況

① しまね環境アドバイザー制度【環境政策課】★1

環境の専門家を「しまね環境アドバイザー」※1として登録し、県内の学校や子供会、自治会、婦人会、企業等で行われる学習会やイベント等に派遣しました。

令和2年度 しまね環境アドバイザー 23名

派遣件数 学校 31件 自治会等 3件

② しまね出前講座【環境政策課】★1

環境学習の一環として、次の出前講座を実施しました。

ア 宍道湖・中海環境出前講座「宍道湖・中海の水環境を考える」

身近な河川や湖の水環境の現状を話し合い、自分達にできる水質保全対策について考えました。

令和2年度受講実績 学校 18校 参加児童・生徒数 781名

イ 下水道出前講座「下水道ってな～に？」

家庭での生活排水対策の意識向上を目的として下水道のしくみや役割を実験などによりわかりやすく解説しました。

令和2年度受講実績 学校 30校 参加児童・生徒数 1,012名

③ 親子で取り組む環境活動促進事業【環境政策課】

幼・保育園児等の未就学児や小学校の児童とその保護者に対して、親子で簡単に取り組める環境配慮行動を紹介し、環境問題への関心を高めました。

ア 親子で取り組むミニエコ講座の開催

地球温暖化に関する絵本の読み聞かせや、マイバックを作るワークショップ等を実施しました。

令和2年度実施園数： 36 園

イ しまねっこチャレンジ

親子で簡単に取り組めるワークシートを配布・回収し、家庭における省エネ行動を促しました。

令和2年度実施園数：59園

ウ 夏休み省エネチャレンジシート

小学校4年生とその保護者に対して、親子で環境配慮行動を体験するワークシート制作支援等を実施しました。

令和2年度実施学校数

松江市内小学校：32校／34校

浜田市内小学校：15校／16校

④ 小・中学校の取組は資料編：1のとおりです。【教育指導課】

⑤ 県立学校の取組は資料編：2のとおりです。【教育指導課】

⑥ みんなで調べる宍道湖・中海流入河川調査【環境政策課】★2

宍道湖・中海の水質に関する理解を深め、水質浄化活動の推進を図るため、小中学生を対象とした宍道湖・中海の流入河川調査を行っており、37団体、1,266名の児童・生徒が参加しました。

⑦ 学校における3R・適正処理学習支援事業【環境政策課】

子どもたちがリサイクルに取り組む企業等に出向き、循環型社会について理解を深める学習に対して、経費の支援等を実施しました。

令和2年度実施校数 23校（小学校・中学校・高等学校・特別支援学校）

(3) 参考情報

① しまね環境アドバイザー派遣実績

https://www.pref.shimane.lg.jp/infra/kankyo/kankyo/kyoiku_gakushu/kankyoadviser.html

② みんなで調べる宍道湖・中海流入河川調査

https://www.pref.shimane.lg.jp/infra/kankyo/kankyo/shinjiko_nakaumi/ryunyukasen/

③ 学校における3R・適正処理学習支援事業実施学校

https://www.pref.shimane.lg.jp/infra/kankyo/kankyo/kyoiku_gakushu/school3r.html

★1は、第5章－第1節－(2)－①の「(2)取組状況」①②と同内容です。

★2は、第1章－第3節－(2)－④、第5章－第1節－(1)－④の「(2)取組状況」②と同内容です。

《用語解説》

※1 環境アドバイザー

県内の学校、自治会、企業等が自主的に行う環境問題に関する学習会等へ派遣する講師として、知事が委嘱した者。環境に関する広範囲かつ専門的な知識や豊富な経験を有する。

令和3年版環境白書

【担当課】

所属名	問い合わせ先
(主) 環境政策課 教育指導課	0852-22-6379